



# 日本聖公会東日本教区 聖アンデレ教会

管理主教 フランシス 長谷川清純 牧師 司祭 ステパノ 卓志雄  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18  
電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250  
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

**聖霊降臨後第 4 主日(緑) 2026 年 6 月 21 日**

## 礼拝案内

† 午前 7 時 30 分 聖餐式  
(午前 7 時 25 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)  
司式：司祭 上原成和

† 午前 9 時 15 分  
こどもとともにささげる礼拝  
司式・お話 こども礼拝スタッフ  
聖歌 47 408 397

## 入堂聖歌 47

参入 1 頁(162 頁)  
清めの祈り 1 頁(162 頁)  
キリエ 3 頁(163 頁)  
大栄光の歌 4 頁(164 頁)  
特祷 (特定 7)

† 午前 10 時 30 分 聖餐式  
(聖オルバン教会と合同)  
※式次第は対訳式文参照  
(午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者祈りの集い)  
司式・説教：司祭 マイケル・D・モイアー  
聖歌 314, アレルヤ唱, 259, 346

## み言葉

第一朗読 エレミヤ書 20 章 7-13 節  
詩編 第 69 編 7-10, 16-18 節  
第二朗読 ローマの信徒への手紙 6 章 1b-11 節  
福音書: マタイによる福音書 10 章 24 節-39 節

† 午後 5 時 夕の礼拝 司式：大岡祐一郎  
詩 19,46 サム上 4:12-22 使 15:1-12  
聖歌 404

説教：司祭 上原成和  
ニケヤ信経 9 頁(166 頁)  
代祷 (週報 2 面) 12 頁(168 頁)  
懺悔 13 頁(170 頁)

## 聖餐

平和の挨拶 15 頁(171 頁)

## 奉獻聖歌 408

奉獻 16 頁(172 頁)  
感謝聖別(I) 24 頁(180 頁)  
陪餐 28 頁(182 頁)  
感謝 28 頁(183 頁)  
祝福  
派遣

## 退堂聖歌 397

### 礼拝参加にあたって

※礼拝は教会ホームページより動画配信されています。  
(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください)  
※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおすすめしますが、状況・体調等に応じて各自ご判断ください。  
※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10 分程度)は黙想の時間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。  
※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれの席からいたします。  
※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付台付近の献金箱におささげください。  
※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右 2 列で聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。また祝福を希望される方も同様に進みます。  
※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。  
※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。  
※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なくお知らせください。  
※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどありましたら、遠慮なく受付案内の係までお声かけください。

## 本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、  
全公会のため、また世界のために祈りましょう

※ ( ) 内の斜体は音読しなくてもよい。

沖縄週間の祈り：

(2026年6月21日(日)～6月27日(土))

歴史と生命の主である神よ、私たちが平和の器にしてください。嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と赦しをお与えください。わたしたちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中に癒しを、疑いの中にあなたへの信仰を、主よ豊かに注ぎ込んでください。この沖縄週間を通してわたしたちを新たにし、あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。わたしたちの主イエス・キリストのいつくしみによって、このお祈りをお献げいたします。アーメン

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会

(ステパノ 卓志雄司祭、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東日本教区

(管理主教 フランシス 長谷川清純 主教)]

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所、聖オル

バン教会 (マイケル・D・モイアー司祭)

東京聖十字教会、

聖公会神学院 (諸聖徒礼拝堂)、

栃木聖アルバン教会

(聖オルバン日6月22日)

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・東日本教区)]

[日本聖公会 (首座主教 ダビデ 上原榮正 主教)]

沖縄週間

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

アンマン アハリヤー女学校

[全世界の聖公会]

南インド (合同) 教会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

日本基督教団

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの管理主教

フランシス

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせて  
ください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカと

イスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地

域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに

に尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求め

させてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と

隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家

族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アンデ

レ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウト東

京港第14団、ガールスカウト東京都第138団、入

信を希望している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結

婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によっ

て教会から離れている人びと、この地域で生活し、

働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人

びとを支える働きに関わる人びと、

6月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、こ

とに、東日本教区神学生 (教区会決議)

教区青年活動 (教区青年会)、

国際こども学校の働き (国際こども学校を支

援する会)、

きぼうのいえ (特非) きぼうのいえ)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに

愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

## <お知らせ>

- ◇ 本日7時半の聖餐式は、上原成和司祭が司式・説教をさせていただきます。  
卓志雄司祭は管区宣教主事として、「沖縄週間/沖縄の旅」に参加しています。
- ◇ 10時半の聖餐式は、聖オルバン教会との合同礼拝です。聖オルバン教会聖堂へお集まりください。礼拝後、聖アンデレホールにて交流愛餐会があります。なお、10時半の礼拝動画配信はありません。ご了承ください。
- ◇ 『さかえ390号』が発行されました。どうぞご覧ください。
- ◇ 4月まで実施しておりました「礼拝奉仕に関するアンケート②」および「奉仕団体に関するアンケート③」にご協力いただき、改めて感謝申し上げます。皆さまからの答えをもとに、「お花の飾り（大祝日などの祭壇・礼拝堂）」を担当する新しい奉仕グループも誕生いたしました。また、礼拝や奉仕団体への参加を希望された方々には、ご連絡を差し上げております。皆さまのお働きとご協力に心より感謝いたします。

- ◇ 教会内施設、和室など、電気やエアコンの消し忘れ、鍵の閉め忘れがたびたび見受けられます。使用された方は、必ず最後の確認をお願いいたします。

### ☆チャリティーコンサート☆

#### 第23回 教会にJAZZが来た！

7月11日（土）17時～

聖アンデレ教会聖堂にて開催されます。

お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

チケット販売中です！！

- ☆ 聖アンデレ教会オリジナルTシャツができました！  
1枚¥2,500で販売中！

☆ 聖アンデレ教会広報のYouTubeチャンネル

「今、福音に聴く」では、卓志雄司祭によるマタイ福音書の最終回を配信しています。次回、ヨハネ福音書まで、どうぞ今しばらくお待ちください。ご視聴は  
[tps://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0](https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0)  
又は下のQRコードからお願いいたします。



広報チャンネル



インスタグラム



ホームページ



Facebook

## <困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界各地の震災の被災者、ことにフィリピン沖地震により悲しみのただ中にある人びと、

世界各地の自然災害の被害のため困難な状況にある人びと、

住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、

戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びとを顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

## <逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

- ☆【聖書を学ぶ会】毎月第1水曜日 13:30～開催しています。次回は7月1日（水）です。現在、土井かおる著『よくわかるキリスト教』（PHP 研究所、2004年）をテキストとして用い、聖書、キリスト教の歴史、教理、ならびに現代における課題について学びを深めています。多くの方の参加を歓迎しこの学びの 때가、より豊かなものとされることを願っています。

### 聖書朗読（旧約聖書・使徒書）を分担しませんか

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。受洗や堅信の記念日、誕生日、結婚記念日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。

## 本日・今週の予定

6月21日(日) 聖霊降臨後第4主日(特定7)

7時半 聖餐式 上原成和司祭  
9時15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式(聖オルバン教会と合同)  
17時 夕の礼拝

- ・礼拝後 聖オルバン教会と交流愛餐会
- ・13時 聖歌隊練習

22日(月) 7時半礼拝 高橋宏幸主教  
王下 17:5-8,13-15,18 詩 60:1-5,11-12 マタ 7:1-5

23日(火) 7時半礼拝 王下 19:9b-11,14-21,31-36  
詩 48:1-2,8-14 マタ 7:6,12-14

24日(水) 洗礼者聖ヨハネ誕生の日 7時半礼拝  
イザ 40:1-11 詩 85:7-13 使 13:16-26 ルカ 1:57-80

25日(木) 7時半礼拝 卓志雄司祭  
王下 24:8-17 詩 79:1-9,11 マタ 7:21-29

卓司祭在室(終日)

26日(金) 7時半礼拝  
王下 25:1-12 詩 137:1-6 マタ 8:1-4

27日(土) 7時半礼拝  
哀 2:2,10-14,18-19 詩 74:1-3,22-23 マタ 8:5-17

- ・10時半 埋葬式(青山墓地)
- ・13時半/17時半 洗礼の学び

28日(日) 聖霊降臨後第5日主日(特定8)

7時半 聖餐式  
9時15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式  
エレ 28:5-9 詩 89:1-4,15-18 ロマ  
6:12-23 マタ 10:40-42  
聖歌 5, 454, 503, 496, 307  
17時 夕の礼拝 聖歌 37  
詩 145 サム上 10:1-16 使 17:22-34

- ・愛餐会
- ・13時 コンテンポラリーミュージックチーム打ち合わせ
- ・13時半 教会委員会

## 今週のメッセージ

### 主の剣と平和～新しい私に生まれるために

今日の福音書は、先週からのイエス様が12人の弟子たちを派遣する際に語られたみ言葉が続いています。特に「平和ではなく剣をもたらすため、敵対させるため」(34-35)という主の言葉は、「平和」を祈るキリスト者たちにとってショックな響きを持っています。

イエス様の時代、多くの人々が考えていた平和は武力と権力による平和でした。パクス・ロマーナ(ローマの平和)が、この世が与える平和でした。今の世界の大部分でも同様かもしれません。

しかし主イエスが与える平和は、そのようなものではありません。イエス様の平和は、傷ついた人たちが互いの弱さを認め、赦し、そこから立ち上がっていく中で生まれる平和です。決して誰かから与えられる平和ではなくて、一人ひとりの中から呼び起こされ、創り上げ、つかみとる平和です。

イエス様は、罪人と呼ばれた、既存の家族や地域の共同体から切り離された人たちと一緒に食事することで、新しい家族の形を示されました。「神の家族」です。イエス・キリストを主と告白し、主に従うことは、血縁家族に象徴されるような既存の権力、慣習、価値観を見直し、もしそこに誰かの人格や自由や対話を奪うような構造があるなら、そこから解放される道へと歩むことです。その歩みにはまさに見えない「剣」で自分自身を刺すような痛みが伴います。イエス様の剣は、「私たちの内の古い人」を十字架につけて、「新しい命に生きる」ためのものです。

イエス様は仰います。「私よりも父や母を愛する者は、私にふさわしくない。私よりも息子や娘を愛する者も、私にはふさわしくない。また、自分の十字架を取って私に従わない者は私にふさわしくない。」(37-38)

皆さんは、自分の十字架は何だと考えますか。自分の弱さ、醜さ、恥ずかしさ、それも含めて自分なのだとして受け入れて、それでも他者と共に生きていく中に、神様の与える「命」があります。

人と人を繋げ、悔い改め、赦し、本当の平和とは何かを共に考え、祈り、歩いていく力が、その「命」にはあります。

主の平和が皆さんと共にありますように。

(司祭 上原成和)